



プロジェクト研修に係る実証授業や調査研究に取り組んでいます！

私たち教育指導部の長期派遣研修員は、プロジェクト研修として、所属校の重点目標の達成に向けて、生徒にどのような力を育成したいのか、そのためにカリキュラム・マネジメントとして何をどのように各教科等で取り組んでいくのか、という視点で研究を行っています。そして、各自の研究構想に基づき、7月ごろから所属校において実証授業や調査研究を行っています。

また教育指導部では、長期派遣研修員の実践の充実を図るために、指導案相談会という取組が実施されています。指導主事の先生方と長期派遣研修員で、実証授業の学習指導案に対して、研究の内容を踏まえた授業の流れや予想される生徒の反応、具体的な支援などの学習活動全般についての協議をしています。たくさんのご意見をいただくことで、研修員にとって、自己の実践を多角的・多面的に考えることができる貴重な機会となっています。

今回の「長期派遣研修通信」では、教育指導部の長期派遣研修員それぞれが取り組んでいる研究について紹介します。長期派遣研修期間も残り5か月となってまいりましたが、今後も生徒にどのような力を育成したいのかということを中心に据え、研修に取り組んでいきたいと思えます。



研究の紹介



「根拠をもとに考えをつくることのできる生徒の育成」T.Y

根拠をもとに考えをつくり出すことができる生徒の育成をめざして、総合的な学習の時間を軸として各教科等をつなぐカリキュラム・マネジメントの在り方を研究しています。総合的な学習の時間の学習指導を通して、各教科等で育成した資質・能力がどのように生かされるかを学年職員で協働的に検討することの重要性に気付くことができました。

「学ぶ意義を実感できる生徒を育成する研究」K.Y

学習過程に1枚ポートフォリオ評価(OPPA)を取り入れることは学ぶ意義を実感できる生徒を育成することに有効であるかを明らかにする研究に取り組んでいます。一枚ポートフォリオシートをもとに生徒の振り返りと教師の助言を繰り返すことで生徒の考えがより深まっていくことに気付きました。この学びを、次の実践に生かしていきます。

「自己のよりよい成長を実感する生徒育成のための一方途」K.Y

自己のよりよい成長を実感する生徒の育成をめざして、AAR サイクルを取り入れた教科等横断的な単元デザインの研究・実践に取り組んでいます。総合的な学習の時間の実証授業を通して、単元を貫く探究課題を自分事としてとらえる学習活動に課題が残ったため、次の社会科の実証授業では課題設定を工夫して研究をさらに進めていきます。

「粘り強く挑む力」の効果的な育成を図る中学校のカリキュラム・マネジメントに関する調査研究 N.H

次年度に所属校が行う「粘り強く挑む力」の育成・向上に向けた仮説を生成することを目的として、先進校等のカリキュラム・マネジメントについての調査研究に取り組んでいます。様々な地域の中学校で、主任・主事へのインタビュー調査、授業参観、アンケート調査を実施させていただき、新たな視点を得ることができました。

「学びを自己調整できる生徒の育成の一方途」O.Y

学びを自己調整できる生徒の育成をめざして、「選択・決定」「自己評価」の活動を取り入れた学習活動の工夫に取り組んでいます。数学の実証授業を通して、単元を通しての学習課題の設定とその評価についての課題が残ったため、次回の実証授業では、単元を通しての学習課題を工夫して研究を進めていきたいと考えています。